



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2013.12月号

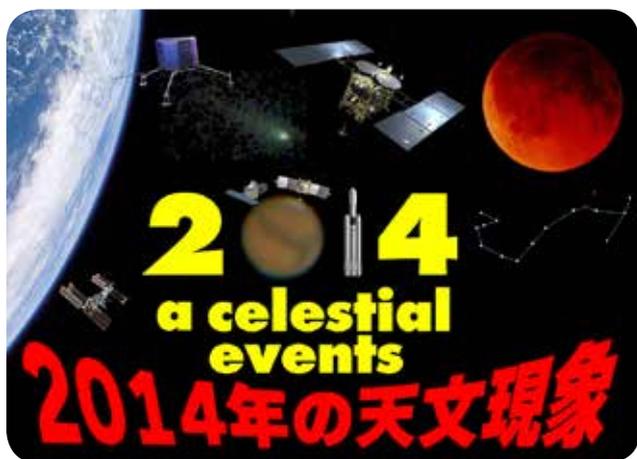


2014年の天文現象

投影期間：12月7日(土)～1月26日(日)まで



2011年12月10日に平塚市博物館屋上から撮影した皆既月食
欠けた月の写真を重ねると、地球の大きな影が浮かび上がってくる



★ 2014年の天文現象のテーマは赤!

来年春には約2年2ヶ月ぶりに火星が地球に接近します。表面の様相を見る絶好のチャンスで、9月下旬にはさそり座のアンタレスと並び、赤さ比べができるでしょう。10月には約3年ぶりの皆既月食があり、月が赤銅色に染まります。番組では、最新のアイソン彗星の情報を交えつつ、プラネタリウムのシミュレーション機能を使って来年の天文現象を再現します。

また、来年は宇宙開発も賑やかです。9月には米印の探査機が火星へ到達し、主に火星の大気の成り立ちについて詳しい調査が行われます。11月には欧州の探査機が史上初めて彗星に降り立ちます。年末には、「はやぶさ2」が種子島宇宙センターから打ち上げられる予定です。天文現象と一緒に、宇宙開発の見どころも詳しくご紹介します。

2014年の主な天文現象

- (1/4) 未明 しぶんぎ座流星群が極大・久しぶりの好条件
- (4/14) 火星小接近・最接近時の明るさは-1.4等級
- (4/15) 部分月食・地平線下で皆既となり、後半のみ見える
- (8/11) スーパームーン・1年で最も見かけの満月が大きい
- (8/13) ペルセウス座流星群が極大・満月直後の月あり
- (8/18) 金星と木星が見かけ上0.2度まで接近
- (10/8) 皆既月食・夕方8時頃に最大食となる
- (10/20) サディング・スプリング彗星が火星に大接近
- (12/2) ほうおう座流星雨・日本では見る事ができない
- (12/14-15) ふたご座流星群が極大・下弦の月明かりあり

2014年の主な宇宙開発の予定

- (冬期) GPM 主衛星、だいち2号の打ち上げ
- (4月) インドの大型ロケット「GSLV-III」の試験飛行
- (5月) 探査機「ロゼッタ」が177P/グラーフハルト彗星に到着
- (5月) 若田光一宇宙飛行士がISSから帰還
- (夏期) 超大型民間ロケット「ファルコンヘビー」デビュー
- (夏期) ひまわり8号打ち上げ
- (6月) NASAの新型有人宇宙船「オリオン」が試験飛行
- (9月) アメリカ、インドの探査機が相次いで火星到着
- (11月) ロゼッタの子機「フィラエ」が彗星軟着陸
- (12月) はやぶさ2の打ち上げ・2020年に地球帰還



秋の博物館行事の様

今年の秋も博物館の行事に
たくさんの方にご参加いただき
ありがとうございました。
ちよつとだけ様子をご紹介します。



「宇宙・地球・物質生命」特別講演会

神奈川大学の藤岡換太郎先生をお招きして、最新の研究成果をもとに
宇宙誕生から人類に至るまでの長い道のりを振り返りました。



秋の特別展展示解説

浜野学芸員が、打掛を包んでいた古文書について説明しています。
古文書の内容はイブニングミュージアムで早田学芸員が解き明かしました。



収蔵室見学ツアー

普段見ることができない、舞台裏を巡りました。
写真は、マンモスの歯を解説中の森学芸員。



イブニング・ミュージアム・ウィーク「連続講座ーびっくり・はてなの資料を語るー」

イブニングミュージアムでは、開館時間を19時まで延長して、各分野の学芸員が開催中の特別展に関する話題を語りました。
考古分野は、社会教育課の川端学芸員に、縄文土器の文様の作り方や種類について身近な物を使って教えていただきました。

どうなる!? アイソン彗星



肉眼でも見られると期待されるアイソン彗星 (C/2012 S1)。今年の春から秋にかけて予想よりも明るくならなかったり、先日は急に明るくなったり、なかなかどうなるか読めません。しかし、市内でも双眼鏡を使えばなんとか見える明るさになりつつあります。尾もしっかりと伸びてきました。11月29日、太陽に最接近した後はどう化けるかわかりませんので、今のうちにしっかりと準備をしておきましょう。アイソン彗星を見るときのポイントを2つ、ご紹介します。



2013年11月16日早朝、真鶴町で撮影されたアイソン彗星 (鷹宏道 当館学芸員 撮影)

1. 東の空が見渡せる場所で!

アイソン彗星が見られるのは午前5時頃…早朝です。アイソン彗星は昇ったばかり…東の空非常に低いところに見えます。できるだけ東の空が開けている場所、地平線(水平線)まで見渡せる場所で観察するようにしましょう。

2. 三種の神器は双眼鏡・星座早見盤・方位磁石



彗星は雲のようにぼーっとした天体。よほどの大彗星でない限り、平塚の街の中で肉眼で見ることは難しいのが現実です。アイソン彗星がどうなるかはわかりませんが、双眼鏡があるとより見やすくなります。双眼鏡は倍率が低いもの(7~10倍)がいいでしょう。探すときには星座早見盤と方位磁石も役立ちます。最近では、彗星の位置が記された星座早見盤は寄贈品コーナーに展示してあります。それを見て、お持ちの星座早見盤に彗星の位置をメモしておくといいでしょう。

12月のアイソン彗星関連イベント

連続講座「アイソン彗星を迎え撃て！」

第4回「星空の古代史：歴史上の彗星と人々」 12月7日(土) 15:30~17:00 プラネタリウム

第5回「彗星と流星群」 12月14日(土) 15:30~17:00 プラネタリウム

※どちらも、アイソン彗星の最新情報やその時点での見え方なども解説します。

プラネタリウム

11月30日(土)・12月1日(日) 11:00~、12:30~、14:00~、「フリートーク・プラネタリウム」

12月7日(土)・12月8日(日) 11:00~、12:30~、14:00~、「2014年の天文現象」

※どちらも、アイソン彗星の最新情報やその時点での見え方なども解説します。14日(土)以降も状況に応じてアイソン彗星の最新情報をお伝えします。

寄贈品コーナー「アイソン彗星を迎え撃て！」

12月27日(金)まで



12月

1	日			☆
2	月	休館日		
3	火			
4	水	博物館文化祭実行委員会	講堂	
5	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
6	金	古文書講読会	講堂	
		お囃子研究会	講堂	
		◎星を見る会「冬の星を見よう」	科学教室・屋上	
7	土	◎「アイソン彗星を迎え撃て」(4)	プラネタリウム室	☆
		平塚学講座 野外実習まとめ	講堂	
8	日	地球科学入門講座	講堂	☆
9	月	休館日		
10	火	地質調査会	工作室	
11	水			
12	木	石仏を調べる会	特別研究室	
		古代生活実験室	科学教室	
13	金	古文書講読会	講堂	
14	土	お囃子研究会	講堂	
		星まつりを調べる会	特別研究室	
		相模川の生い立ちを探る会	科学教室	
		◎「アイソン彗星を迎え撃て」(5)	プラネタリウム室	☆
15	日	◎ろばたばなし	相模の家	☆
		平塚の古代を学ぶ会	講堂	
16	月	休館日		
18	水	民俗探訪会	特別研究室	
		裏打ちの会	科学教室	
19	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
20	金	古文書講読会	講堂	
21	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
		東国史跡踏査団	講堂	☆
		天体観測会	科学教室	
22	日	◎体験学習「お飾りをつくろう」	講堂	☆
23	月			
24	火	休館日		
25	水			☆
26	木			☆
27	金			
28	土			☆
29	日	休館日		
30	月	休館日		
31	火	休館日		

1月

1	水	休館日		
2	木	休館日		
3	金	休館日		
4	土			
5	日			
6	月	休館日		
7	火			
8	水			
9	木	石仏を調べる会	特別研究室	
		古代生活実験室	科学教室	
10	金	古文書講読会	講堂	
		お囃子研究会	講堂	
11	土	天体観測会	科学教室	
		平塚学講座 野外実習発表	講堂	
12	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂	
13	月			
14	火	休館日		
15	水	民俗探訪会	特別研究室	
		裏打ちの会	科学教室	
16	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
17	金	古文書講読会	講堂	
18	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
		東国史跡踏査団	講堂	
19	日	◎ろばたばなし	相模の家	
		相模川の生い立ちを探る会	大磯虫窟 (雨:科学教室)	
20	月	休館日		
21	火	地質調査会	工作室	
22	水			
23	木	石仏を調べる会	特別研究室	
		古文書講読会	講堂	
24	金	◎星を見る会「木星と冬の星を見よう」	科学教室・屋上	
		星まつりを調べる会	特別研究室	
25	土	お囃子研究会	講堂	
26	日			
27	月	休館日		
28	火			
29	水			
30	木			
31	金	休館日		

☆: プラネタリウム投影日 ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

<プラネタリウム一般投影>

★「2014年の天文現象」
 投影日: 12月7日(土)～1月26日(日)までの土・日曜日
 時間: (1) 午前11時(第2,4土曜を除く) (2) 午後2時
 観覧料: 200円(18歳未満65歳以上無料)

<プラネタリウム幼児投影>

★「すいせいゴエモンのぼうげん」 時間: 午前11時
 投影日: 12月14日(土)、12月28日(土) 1月11日(土)、1月25日(土)
 観覧料: 200円(18歳未満65歳以上無料)

<申込制の行事>

★体験学習「お飾りをつくろう」
 内容: お正月の一文飾りや玄関飾りをつくります
 日時: 12月22日(日) 午後1時～午後4時
 場所: 博物館 講堂 定員: 30名
 申込: 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、
 12月13日(金) 必着で申し込む

<特別展と関連行事>

★秋期特別展「蔵出し!びっくり・はてな資料展」
 会期: 10月12日(土)～12月8日(日)まで

<寄贈品コーナー>

★「アイソン彗星を迎え撃て」
 会期: 11月13日(水)～12月27日(金)まで
 ★「日本刺繍の技と美」
 会期: 1月4日(土)～1月30日(木)まで

<情報コーナー>

★「相州だるま展」
 会期: 12月1日(日)～1月26日(日)まで

<プラネタリウムの団体利用について>

利用可能日: 水・木曜日、土曜日の午前中
 観覧料: 3割引 予約: ご利用の10日前まで(20名以上、最大50名)

あなたと博物館 41巻09号 通算444号 発行 平塚市博物館 2200
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
 E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/